

小林商工会議所は、維持が難しくなっていた中心市街地の旧街路灯を撤去し、国と市の補助を受けて新しい街路灯を設置しました。多くの機能が備わった全国初のLED街路灯で、また一步「九州一安心安全なまち」に近づきました

【変わる中心市街地】

全国初の多機能ソーラーLED街路灯を設置 犯罪抑止や交通事故防止効果にも期待



中心市街地に設置された多機能次世代ソーラーLED街路灯

小林商工会議所は、国と市の補助を受けて、国道221号を中心とした、人通りの多い3通りに112基の街路灯を設置しました。「青色白色複合LED

照明」と「反射技術を活用したLED照明」が組み合わさった灯具を、全国で初めて使用した街路灯です。

「青色白色複合LED照明」は、青色と白色を複合させることで、心理学的に、犯罪抑止効果がある光源で、犯罪の防止などへの効果が期待されます。

「反射技術を活用したLED照明」は、通常のLEDと比べ、濃霧時や夕方に高齢者にも見えやすい光源として開発。昼間の約2倍の件数にのぼる、夜間の交通事故の抑制に効果があると検証結果が出ています。

**太陽光で環境に優しく
停電時も点灯します**

また、電気代を必要としない太陽光パネルと長寿命のリチウムイオンバッテリー、そこにLEDが備わっています。維持も低コストで環境に優しく、停電した夜間でも点灯します。

特に災害時の停電の際、防災拠点の市役所と救急救命病院となる市立病院を結ぶ道路を照らすことができ、災害活動の支援にも貢献できます。また一步「九州一安心安全なまち」に近づきました。

**キャラクター設置で
チョウザメ料理もPR**

街路灯には、小林市の当地グルメ「チョウザメ料理」のイメージキャラクターも。「小林チョウ左衛門（通称こぼつちよ）」、「出の山ひめ子（通称いで姫）」が、街路灯112基すべてのソーラーパネルとLEDの間に飾られています。



【設置場所】

国道221号を中心に、市立病院交差点付近から西町交差点付近までと駅前通りの3通りを含む総延長約2190㍍（駅前通り：120㍍、新天街通り：170㍍、赤松通り：00㍍、中央通り含む西町～市立病院前：1800㍍）